



2007年 第26回全道経営者“共育”研究集会 in とまこまい

ものづくりのまちで 新たな「動」研物語が 生まれる! ~やる気!!本気!!が全国制覇!!~

■と き **2007年10月19日(金)・20日(土)**

■ところ **グランドホテルニュー王子** (メイン・懇親会場)
苫小牧市表町4丁目3-1 電話: 0144-31-3111

■参加費 **15,000円** (「美苫」道研記念ボトル付・宿泊代は含みません)

主催 / 北海道中小企業家同友会

〒060-0004 札幌市中央区北4条西16丁目 第一ビル7階
☎011-611-3411 FAX011-611-9573
E-mail information@hokkaido.doyu.jp

設営 / 北海道中小企業家同友会苫小牧支部

〒053-0031 苫小牧市春日町1丁目3-4 グリーンビル2階
☎0144-36-9080 FAX0144-36-9666
E-mail tomakomai@hokkaido.doyu.jp

2007年 第26回 全道経営者“共育”研究集会 in とまこまい

スケジュール

10/19(金)
12:00~ 受付開始
13:00 開会
13:00~13:30 全体会議
14:00~18:30 分科会
19:00~20:45 懇親パーティ
21:00~ 全道青年部懇親会

10/20(土)
8:30~ 開場
9:00~10:30 記念講演
10:40~12:00 全体会議
12:00 閉会
12:00~ オプション企画



記念講演会 「夢追い続ける」

講師 香田 誉士史 氏
駒澤大学付属苫小牧高等学校
硬式野球部監督



講師略歴

昭和46年生まれ 佐賀県出身
昭和63年 佐賀商業高校で夏の甲子園出場
平成元年 春・夏連続で甲子園出場
平成6年 駒澤大学卒業・母校佐賀商業高校の臨時コーチを務め夏の甲子園優勝
平成7年 駒澤大学付属苫小牧高校社会科教員・硬式野球部監督就任
平成13年 32年ぶり夏の甲子園出場
平成16年 北海道代表校として史上初の全国制覇、道民栄誉賞受賞
平成17年 2年連続、2度目の甲子園優勝、国体・明治神宮大会とあわせ高校三冠
平成18年 4年連続、夏の甲子園出場。準優勝
平成19年 5年連続、夏の甲子園出場。

写真：北海道新聞提供

移動・見学分科会 “動研・フィールドワーク型分科会” (百聞は一見に如かず)

〈移動分科会〉

1 報告者 (株)金剛園 代表取締役

定員30名

店づくり・社員教育

社員一丸となって取り組む地域密着型の店づくりとは
～焼肉「金剛園」本店・店舗見学～



業 種 焼肉店「金剛園」(4店舗)、牛タン専門店「初代牛タン赤兵衛」、とんかつ「かつぶじ」経営

設 立 1985年
資 本 金 1,000万円
従業員数 220名
URL [http:// www.kongo-en.co.jp/](http://www.kongo-en.co.jp/)

討論のポイント ・地域のお客から支持される店(企業)づくりとは

須藤 精作 氏
(苫小牧支部)

報告概要

創業22年。「みんなのおいしい顔が見たいから」を経営理念に苫小牧地域密着型の焼肉店を展開しています。今年7月には本店をリニューアルオープンし、金剛園の集大成として本店らしい和牛を中心とした店づくりをしています。人口17万人の苫小牧で1年間36万人の来客。最近では、新千歳空港の「空弁」で和牛焼肉弁当を始めるなど、新たな分野へも挑戦しています。

2 報告者 エコワークス苫小牧 組合 理事長 渡辺 健治 氏
(苫小牧支部)

定員30名

環境問題・リサイクル

053(ゼロゴミ)のまち苫小牧で、ゼロエミッションを目指して
～無機・有機汚泥処理施設「エコワークス苫小牧」工場見学～



業 種 無機・有機汚泥リサイクル施設、廃棄物収集運搬、超高压洗浄・はつり(アブジェット工法)、下水道・雑排水管洗浄、管路調査、受水槽清掃

設 立 1968年
出 資 金 500万円
従業員数 76名
URL <http://www.tomasei.net/>

討論のポイント ・環境にやさしい企業づくりとは

報告概要

有機汚泥、無機汚泥の中間処理施設。ゼロエミッションを目指し、ISO14000認証取得。廃棄物処理中間処理業として、北海道で初の優良事業所になるなど、先駆的な取り組みを実践しています。ISO認証取得を目指す中で、5Sの徹底が社員の意識を変えてきたと実感しています。

3

報告者
トヨタ自動車北海道(株) 常勤監査役
竹花 奎一氏
(コーディネーター)
報告者
グンダイ(株) 代表取締役社長
北原 総一郎氏
報告者
ホクダイ(株) 取締役会長

定員40名 製造業・QCサークル

カイゼン・QC活動を通じた我が社の実践

～トヨタ自動車北海道工場見学～



(ホクダイ(株))
北原 総一郎氏



(トヨタ自動車北海道(株))
竹花 奎一氏

設立 1994年
資本金 5,500万円
従業員数 23名

業種 アルミニウム合金による各種ダイカスト製品の設計、金型製作、加工まで一貫製造(主に自動車部品)

報告概要
安平町で、アルミ関連の自動車部品製造を営んでいるホクダイは、QCサークル活動に熱心に取り組み、生産性・品質向上に努めてきました。さらに昨年度は北海道庁主催の「生産現場カイゼンゼミナール」のモデル工場として、トヨタ生産方式の導入・実践をはかり、大きな成果を挙げています。




4

報告者
(有)ウエムラ牧場 代表取締役
上村 篤正氏
(吉小牧支部)

定員30名 農業経営

世界に誇れる和牛生産に挑戦

～しらおい和牛工場の挑戦～





設立 1986年 業種 農畜産物の生産及び販売、食肉の販売及び加工販売
資本金 2000万円
従業員数 12名 URL <http://www.kitaitai.com/uemura/>

報告概要
繁殖から肥育まで和牛の一貫生産を行うと共に、自社ブランド「しらおい和牛工房」で商品開発・販売を行い、全道・全国の百貨店の物産展で人気を博しています。和牛生産からブランド構築までの一貫した取り組みから農業への思い、ブランド戦略・マーケティング戦略を考えてまいります。

討論のポイント
消費者に支持される自社商品のブランド化戦略とは

5

報告者
室蘭開発建設部
吉田 孝義氏
(札幌支部)
報告者
東ワラ商事(株) 代表取締役社長
梅沢 信敏氏
報告者
苦小牧港湾事務所 所長
吉田 孝義氏

定員25名 物流・港

苦小牧港等を活用した我が社の物流戦略

～北海道の輸入、輸出戦略を考える～



(東ワラ商事(株))
吉田 孝義氏



(吉小牧港湾事務所)
梅沢 信敏氏

設立 1955年
資本金 3,500万円
従業員数 36名

業種 荷造包装資材、包装機械、ダンボール、ポリ化成品、ワラ卸売
URL <http://www.tohwara.co.jp>

報告概要1
15年ほど前から、中国の竹・ムシロ・雑貨などを輸入。その拠点となったのが、苦小牧港。物流コストを下げ、道央の港を活用した輸入・輸出戦略を提言します。

報告概要2
国内第4位。内貿では国内第1位を誇る北海道最大の港・苦小牧港。北海道の港湾貨物取扱量の約50%を担う港湾の活用について現状とこれから。また、物流の拠点・苦小牧を自社でどう活用するかについて考えてまいります。苦小牧港見学(船上)。

6

報告者
(株)四季舎 代表取締役
鈴木 花次雄氏
(吉小牧支部)

定員30名 ダイレクトマーケティング

会員数63万人!北海道の魅力を全国へ発信

～四季舎工場見学～





設立 1992年 業種 食品製造卸販売及び通信販売
資本金 4,000万円 URL <http://www.shikisya.co.jp/>
従業員数 78名

報告概要
会員数63万人を誇り北海道の商品を全国へ販売する通信販売業を営んでいます。北海道の食を全国へ発信しています。インターネットを通じての販売にもいち早く取り組み、スイートポテトやラスクなど自社ブランドの開発商品も多数揃えています。スイートポテトは年間60万本販売の大人気商品。北海道から全国への販促開拓ダイレクトマーケティングの現状について考えてまいります。

ホテルでの分科会

7

報告者
道東電機(株) 代表取締役
佐藤 陸浩氏
(帯広支部)

経営指針づくり

経営の転換期を支えた経営指針～経営者の仕事は、大海原に航海図をつくり方向を示すこと～



業種 家電量販ヤマダ電機グループFC店コスモスベリーズ、リサイクルショップあいうえお店、わかるとできるパソコン教室、家電流通センター
設立 1969年 従業員数 43名
資本金 2800万円
URL <http://www.dtd.co.jp/>



業種 建築企業(公共建築・農業施設・個人住宅)
設立 1956年
資本金 3000万円
従業員数 14名

報告者
みどり建工(株) 代表取締役
山崎 宏氏
(南これと支部)

報告概要
道東電機は、家電業界の激しい競争の中で経営指針を確立しながら、リサイクル関係への進出、大手とのフランチャイズ契約の変更など社員と一丸なって企業を守り発展させています。2代目を継承するときに経営指針作りで、会社の変換期を乗りきった体験から学んで参ります。

報告概要
「葛藤は美なり」...彫刻家荻原守衛の言葉を座右の銘にし、人も組織も悩み続けることで更に自身を磨くことができると信じる三代目経営者。同友会の経営指針研究会の学びを通して、成文化されていなかった創業者の理想が言葉になりました。「経営指針に基づいて後継者をつくるのが経営者の最大の仕事」と言い切ります。

討論のポイント
・経営指針の作成で会社の何が変わるのか
・経営方針を社員に浸透させるためには

8

報告者
(株)シオン
代表取締役



関口 ひろみ氏
(札幌支部)

報告概要

ラジオ局のディレクターから、樹脂防水工事の道内草分けである現在の会社に入社した関口さん。社長を継いで10年目には、大幅な売上ダウンを余儀なくされます。動揺して退職する社員も出ると覚悟しましたが、逆に自主的な飛び込み営業で、新しい顧客を開拓する若手社員も生まれます。「シオンは望みのある会社だから」。そう答える彼らにとつての「望み」とは何か?共に考えて参ります。

逆風を乗り越える力
～人間の尊厳を大切にすること～

業 種 合成樹脂による防食・防水工事及び加工、アスベスト除去工事、耐震補強工事

設 立 1960年

資 本 金 3400万円

従業員数 40名

URL <http://zion1960.co.jp/>

人育て

9

報告者
戸沼建設(株)
代表取締役



戸沼 平八氏
(函館支部)

報告概要

討論のポイント
・経営環境の変化をどうとらえ対応するか
・学習実践型の集団をどうつくり上げるか

土木工事、特に、治山・治水工事の技術力が官庁や同業者、地域から高い評価を得ている戸沼建設(株)。その源泉は「学び続ける」社風です。今、戸沼社長をリーダーとするNPO法人北海道魚道研究会の地道な実践が、中小建設業の新しい仕事づくりとして注目・期待されています。同友会歴37年の戸沼社長が、同友会での学びをどのように社内に浸透させたのか、どのように地域に広めているのかを真摯に問題提起します。

建設業の経営戦略

中小建設業の需要創造

～仕事づくりは地域づくり・企業づくり・人づくり～

業 種 土木工事業、建築工事業、造園工事業他

設 立 1954年

資 本 金 3200万円

従業員数 29名

URL <http://www.tonuma.com/>

10

報告者
本田興業(株)
代表取締役専務



本田 哲氏
(札幌支部)

報告概要

我が社の事業継承と将来への課題

～父親から何を学び、どう自分の“色”を出すか?～

業 種 アルミサッシ及び硝子工事、管工事、設備工事

設 立 1954年

資 本 金 1000万円

従業員数 22名

東京の大学を卒業後、大手自動車メーカーで勤務していましたが、「雄大な羊蹄山と共に生きたい!」と暮る思いを抑えきれず、約4年前に社長である父親の後継ぎとして倶知安町に帰郷。しかし、人口減少や公共事業の大幅な削減など市場が急激に変化し、厳しい局面を迎えた地域経済。これまで通りの手法は通用しません。今まさに、尊敬する父親の経営哲学を学びながら、“サービス業”の感覚で挑戦する本田さん。「自社の存在意義は何か?」、「これからどう舵を取ったらいいか?」に悪戦苦闘しながらも、「地域の発展に貢献し、豊かな生活を創出する」という理念の実現に向けて歩んでいます。

後継者問題

11

報告者
(株)エフ・イー
代表取締役



佐々木 通彦氏
(旭川支部)

報告概要

時代はものづくり

～小さくても出来る～



設 立 1959年

業 種 機械製造業

資 本 金 1500万円

URL <http://www.fesystem.co.jp>

従業員数 17名

北海道の小さな会社の大根洗浄機が評価され、メーカーとして全国的な展開、更には韓国に輸出と販売エリアを広げていくその中で、開発・販売といった部分で産学官連携をどう生かし、現在に至ったか等の事例報告を行います。

産学官連携とものづくり

12

報告者
(株)美苦みのり
市町 峰行氏
(苫小牧支部)



報告概要

2001年に「地酒をつくろう会」としてスタートして、苫小牧支部会員で作りに上げてきた地酒「美苦(びせん)」。これまでに累計4万本を販売し、苫小牧地域ブランドとして定着しつつあります。これまでの実践と今後の課題。また食への展開など同友会での「地産地消」の実践から学んでまいります。

同友会が生んだ地域ブランド『美苦(びせん)』の挑戦～年間1万2千本販売!日本酒『美苦』の7年～

業 種 もやし、清涼飲料水(ガラナ、ラムネ、シャンメリー)の製造販売、食品・生鮮食品小売

設 立 1978年 従業員数 76名

資 本 金 1,000万円

URL <http://www.1.ocn.ne.jp/~itimat/>

地域ブランドづくり・地産地消・新商品開発

報告者
曲イ田中酒造(株)
田中 一良氏
(苫小牧支部)



報告概要

明治32年に小樽で創業し、田中社長は4代目経営者。「美苦」誕生時から製造に携わっています。北海道産酒造好適米「彗星」を原料とした大吟醸「宝川」が、平成19年度全国新酒鑑評会で見事金賞に輝き、大きな話題を呼んでいます。

業 種 清酒ほか各種酒類の製造、全酒類の卸売・小売販売

設 立 1956年

資 本 金 1000万円

従業員数 29名

URL <http://www.tanakashuzo.com>



1日目終了後の
オプション企画

全道青年部懇親会

企画・運営:友知会(苫小牧支部青年部)

と き 10/19(金) 21:30～(1日目・懇親パーティ終了後)

参加費 3,500円

※詳細は各支部事務局を通じて、追ってご案内いたします。



第26回
全道経営者“共有”研究集会
実行委員長

今田 正義

(株甚べい 代表取締役)

実行委員長挨拶

私たち苫小牧支部は、今年度で支部設立30周年を迎えます。この節目の年に、支部設立以来初の道研開催ができることを支部会員一同、喜びでいっぱいです。北海道同友会における最高水準の学びの場として、全道各地より参加される皆様に満足していただけるよう、企画や設営に苫小牧支部会員一丸となって準備を進めております。

今回、とまこまい道研を私たちは“動”研と銘打ちました。これは、全12分科会のうち半分の6分科会を移動・見学分科会として、メイン会場のホテル内にのみとどまらず苫小牧地域を動き回っていただくことに由来します。苫小牧に来なければ見ることも触れることもできない企業の生の現場で、まさに「百聞は一見に如かず」を体験していただくものです。皆様と学び合い、交流を深めることを今から楽しみにしております。

10月19日、20日は、北海道の物流基地・工業都市「苫小牧」で、苫小牧支部会員一同心よりお待ちしております。

オプション企画・旅行 (10/20(土) 12:00～ ※2日目終了後)

半日コース

Aコース

ノーザンホースパーク(競走馬・観光)

定員40名(最少催行人数 20名) ■参加費/4,500円(税込・昼食、入場料、バス代含む)

至千歳・札幌

美々

内容

三冠馬ディーブインパクト見学-昼食-施設説明-自由行動

【タイムテーブル】

- 12:30 ノーザンホースパーク到着・昼食
- 13:30 三冠馬ディーブインパクト見学(社台スタリオンステーションへ移動)
- 14:30 施設説明・乗馬体験
- 17:00 ノーザンホースパーク出発
- 17:15 JR南千歳駅到着
- 18:00 JR苫小牧駅・グランドホテルニュー王子前到着・解散



半日コース

Bコース

苫小牧『世界“意”産』ツアー

～苫小牧の日本一・世界一を探訪～

定員40名(最少催行人数 20名) ■参加費/3,500円(税込・昼食、バス代含む)

内容

昼食(日本一の水揚げ量を誇るホッキ料理)

苫東石油備蓄基地(地上タンク式で世界一の石油備蓄量)

王子製紙苫小牧工場(世界一の新聞用紙生産量・世界最速の抄紙機)

苫小牧市科学館・ミール館

(世界唯一の宇宙ステーションミール展示・世界唯一のスペースシャトル軌道計算コンピュータ ※大英博物館とここだけ)

ウトナイ湖(日本初のバードサンクチュアリ、ラムサール条約登録湿地)

【タイムテーブル】

- 12:15 ぷらっとみなと市場・昼食
- 13:20 王子製紙苫小牧工場見学
- 14:30 苫小牧市科学館・ミール館見学
～苫東石油備蓄基地(車窓より見学)～
- 16:30 ウトナイ鳥獣保護センター見学
- 18:00 JR南千歳駅・新千歳空港到着
- 18:30 JR苫小牧駅・グランドホテルニュー王子前到着・解散



苫小牧

写真提供:(社)苫小牧観光協会

会場アクセス・周辺図

～苫小牧地域広域マップ～



■ 近隣のホテル一覧

- ① グランドホテルニュー王子 電話0144-31-3111
苫小牧市表町4-3-1
- ② プラザホテルニュー王子 電話0144-33-5130
苫小牧市表町2-1-30
- ③ 苫小牧プリンスホテル 電話0144-32-9222
苫小牧市双葉町3-2-8

- ④ ホテル於久仁(おくに) 電話0144-34-6441
苫小牧市新中野町1-9-3
- ⑤ 東横イン苫小牧駅前 電話0144-32-1045
苫小牧市王子町3-2-21
- ⑥ 苫小牧ニューステーションホテル 電話0144-33-0333
苫小牧市表町5-7-1

■ 各地同友会事務所お問い合わせ先

お申込は下記事務所へFAXかメールにてお申し込み下さい。

- 札幌本部 / 電話011-611-3411 FAX011-611-9573
information@hokkaido.doyu.jp
- 東北道センター / 電話0155-22-3611 FAX0155-22-3612
doyukai@netbeet.ne.jp
- 旭川センター / 電話0166-38-6663 FAX0166-38-6664
asahikawa@hokkaido.doyu.jp
- 釧根事務所 / 電話0154-31-0923 FAX0154-31-0944
kushiro@hokkaido.doyu.jp

- オホーツク事務所 / 電話0157-23-4110 FAX0157-23-4130
okhotsk@hokkaido.doyu.jp
- 苫小牧事務所 / 電話0144-36-9080 FAX0144-36-9666
tomakomai@hokkaido.doyu.jp
- しりべし小樽事務所 / 電話0134-25-9191 FAX0134-25-0765
otaru@hokkaido.doyu.jp
- 函館センター / 電話0138-51-8800 FAX0138-51-2341
hakodate@hokkaido.doyu.jp

— 第26回 全道経営者“共育”研究集会 参加申込書 —

第1次〆切:9月29日(土) ※10月15日以降のキャンセルは全額申し受けます。

名前 (ふりがな) 性別 (男・女)	分科会	第1希望	分科会
	分科会	第2希望	分科会
企業名	全道青年部交流会 (3,500円)	参加・不参加	
所属支部名	オプション企画	ご希望のコースをお選び下さい。	
役職	<input type="checkbox"/>	Aコース ノーザンホースパーク(半日コース)	
	<input type="checkbox"/>	Bコース 苫小牧『世界“意”産』ツアー(半日コース)	

※本登録内容は行事設営のために北海道同友会管理のもとに参加者名簿などに使用されます。